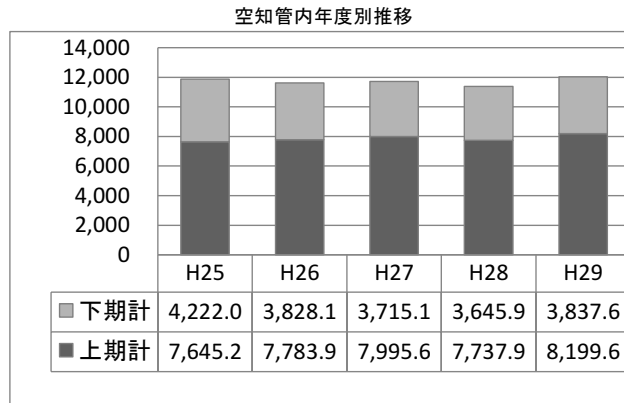


平成29年度空知管内における観光入込客数調査結果の概要

平成30年 6月25日
空知総合振興局商工労働観光課

1. 平成29年度管内観光入込客数

平成29年度の空知管内における観光入込客数は、12,037,200人となり、前年度の11,383,800人から653,400人(5.7%)増加した。



(単位:千人)

項目	H25	H26	H27	H28	H29	対前年度増減	構成比
入込客数	11,867.2	11,612.0	11,710.7	11,383.8	12,037.2	653.4	-
うち道外客	896.4	816.3	822.4	758.0	986.9	228.9	8.2%
うち道内客	10,970.8	10,795.7	10,888.3	10,625.8	11,050.3	424.5	91.8%
うち日帰り客	11,364.0	11,136.3	11,216.8	10,901.5	11,562.6	661.1	96.1%
うち宿泊客	503.2	475.7	493.9	482.3	474.6	▲ 7.7	3.9%
全道シェア	9.00%	8.70%	8.32%	8.07%	-	-	-
全道入込客数	131,788.0	133,406.4	140,790.6	140,992.7	-	-	-

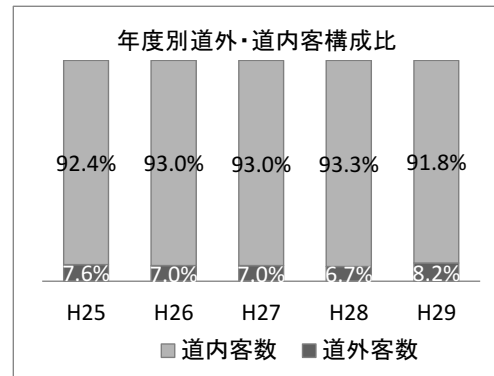
※H29全道分は集計中

(1) 道外・道内客数別

道外客数は、986,900人で、前年度に比べ228,900人(30.2%)増加した。

道内客数は、11,050,300人で、前年度に比べ424,500人(4.0%)増加した。

構成比で見ると、道外客数8.2%、道内客数91.8%となっており、道内客が主体となっている。

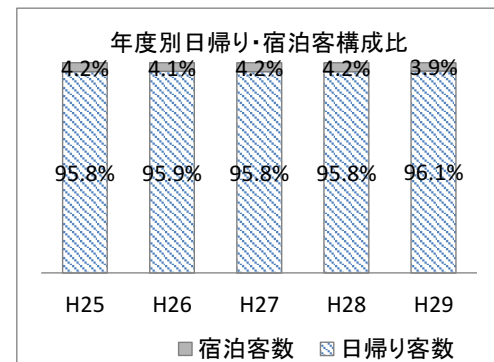


(2) 日帰り・宿泊客数別

日帰り客数は、11,562,600人で、前年度に比べ661,100人(6.1%)増加した。

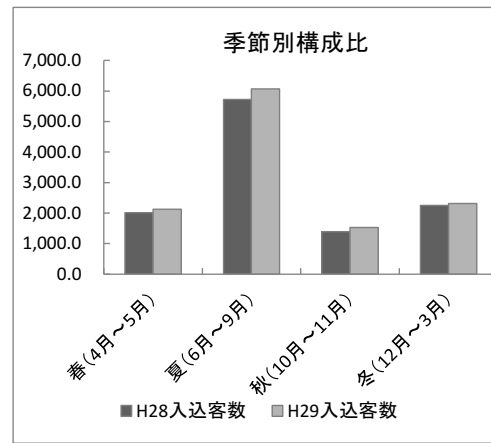
宿泊客数は、474,600人で、前年度に比べ7,700人(▲1.6%)減少した。

構成比で見ると、日帰り客数96.1%、宿泊客数3.9%となっており、日帰り客が主体となっている。



(3) 季節別

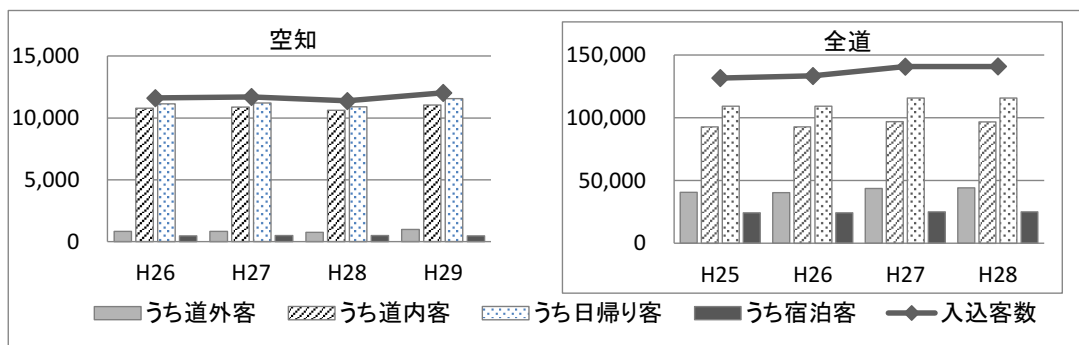
季節別で見ると、夏(6月～9月)が最も多く、6,068,400人で、全体の約半数を占めている。



(単位: 千人)

項目	春(4月～5月)	夏(6月～9月)	秋(10月～11月)	冬(12月～3月)
H29入込客数	2,131.2	6,068.4	1,524.4	2,313.2
構成比	17.7%	50.4%	12.7%	19.2%
対前年度比	105.8%	106.0%	109.8%	102.5%
H28入込客数	2,013.6	5,724.3	1,388.9	2,257.0

2. まとめ



※H29全道分は集計中

○ H29年度の管内の観光入込客数は、前年度と比較すると5.7%の増加となった。

○ 管内入込客数が増加した主な要因として、「道の駅」、「宿泊施設」及び「観光施設」において、リニューアルオープンや新規オープンが多かったとともに、スキー場においても早期オープンや施設リニューアルがあったことなどがあげられる。

3. 参考

観光入込客数上位3市町

	市町名	入込客数 (千人)	増減率 (対前年度)	主な増減理由
1	砂川市	1,412.7	16.8%	砂川ハイウェイオアシス館のリニューアルに伴い、産直市場や新しいレストランがオープンしたことにより大幅な入込増となったほか、他の地点においても微増もしくは平年並みを維持したため、年間の入込客数が増加した。
2	三笠市	1,283.4	28.7%	「道の駅みかさ」がリニューアルオープンによって利用者が増加したとともに、「太古の湯」においても利用者が増加したほか、例年になく降雪が順調だったため、スキー場が12月中旬という早期からオープンできたことが増加要因としてあげられる。
3	岩見沢市	1,145.4	▲4.1%	観光ハイシーズンに猛暑日が多く、客足が遠のいたことや、クマの出没により観光施設が一部閉鎖となったことのほか、悪天候により「ふるさと百餅祭り」が期間短縮となったことが減少要因とあげられる。